

クリタ株主通信

株主の皆様へ

2013年3月期 2012.4.1 ~ 2013.3.31



【目次】

企業理念・企業ビジョン・クリタの特長	1
トップインタビュー	3
あなたとつながるクリタ	7
2013年3月期 連結業績のご報告	9
トピックス・株主の皆様との コミュニケーションコーナー	15
会社情報・株式情報	17
株主メモ	19

企業理念

“水”を究め、自然と人間が
調和した
豊かな環境を創造する

企業ビジョン

水と環境の
先進的マネジメント企業

クリタグループは

「水のマネジメント」をさらに進化させ、

限られた水資源を有効活用する

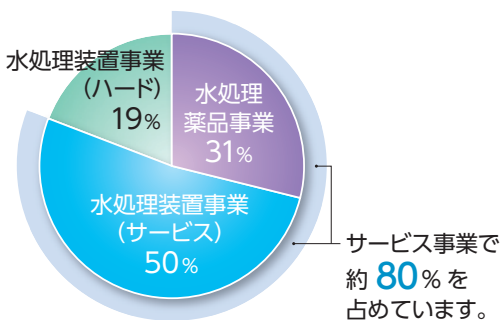
「先進的マネジメント」の実現をめざします。

クリタの特長

- 「水と環境」の分野において、3つの機能をバランスよく併せ持つのはクリタだけです。

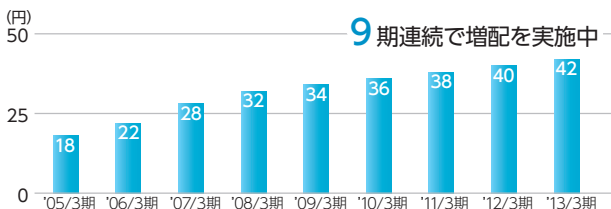


- 収益性が高く安定的なサービス事業の比率が約80%を占めています。



- 安定配当の継続を基本方針とし、配当の増額に努めてまいります。

■1株当たり配当金（年間）の推移



トップインタビュー

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚くお礼申しあげます。
2013年3月期の業績などに関する
株主の皆様のご質問にお答えいたします。

Q1 2013年3月期の連結業績は、
前期と比較し減収減益の決算となりました。
この結果に対する評価を聞かせてください。

市場環境は、震災復興需要の一巡や、欧州経済の低迷
ならびに新興国経済の成長鈍化などにより、お客様工場
の操業度が低下し、設備投資の抑制や生産拠点の統廃合
および海外移転の動きが継続しています。

連結業績ハイライト (億円) ※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

	当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	前期比	前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
受注高	1,867	5.3%減	1,973
売上高	1,801	7.0%減	1,938
営業利益	210	28.6%減	294
経常利益	220	27.4%減	304
当期純利益	115	30.7%減	165
1株当たり配当金	42 円	2 円増	40 円



代表取締役社長

中井 稔之

このようななか、お客様の課題である節電や生産性向上に寄与する提案を強化しながら事業を展開し、一定の成果が得られたものの、厳しい市場環境を克服するには至りませんでした。

連結業績において、減収の幅に比較して減益幅が大きいのは、収益性の高い主力商品・サービスの売上が減少したことや、海外事業の拡大および本社移転に係る費用が増加したためです。

Q2 | 2012年4月よりスタートした中期経営計画「TA-14 (Take Action 2014)」の重点施策について、2013年3月期における進捗状況を聞かせてください。

市場環境の変化や初年度の業績を踏まえ、最終年度である2015年3月期の業績目標を下方修正しました。ただし、当社グループの強みである収益性は堅持していきます。また、重点施策についても不変です。

重点施策の進捗状況ですが、まず海外事業については、アジアの電子産業向けを中心に拡大基調が続いてい

ます。事業を展開するそれぞれの国の人材を中心に海外人員を約80名増強したほか、マレーシア営業所の設立やシンガポールにおけるメンテナンス事業の体制整備などを実施し、現地でのサービス事業基盤の強化を推進しています。

国内事業では、市場シェアを拡大するために、新たな取り組みを開始しました。一例としては、お客様工場の水処理設備のみならず、そこで使用するさまざまなユーティリティの管理まで対象を拡大して装置診断や運転状況のモニタリングを行い、安定運転とトータル運転コストの低減を両立させる提案を行います。提案では、改善策とその効果をお客様にわかりやすく“見える化”し、お客様の課題解決を図っていきます。

また、新商品・新事業の創出をめざして、ポリマー・膜分離などの基盤技術を強化するとともに、海外市場のニーズに合致したスピーディーな商品開発に努めています。半導体製造プロセスで使用される電解硫酸製造装置やRO（Reverse Osmosis：逆浸透）膜処理薬品など具体的な成果が出始めている商品があります。

Q3 | 2013年4月より2年目に入った「TA-14」での注力ポイントを教えてください。

海外での事業拡大を加速させるため、これまで重点的に取り組んできた韓国、中国、台湾に加え、東南アジアでの事業拡大に注力します。インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイなどにおいて食品・飲料・化学・自動車など一般産業をターゲットとし、「水処理薬品」「水処理装置」「メンテナンス」の3つの機能とその連携を強化していきます。

また、国内での事業基盤をより強固なものとするために、お客様の課題解決に貢献する視点での売り方を徹底

し、収益力の高い主力商品・サービスの拡大に取り組めます。

さらに、国内外における事業の拡大に寄与する新商品・新技術の開発に一層注力するとともに、将来の収益基盤となる新事業の創出にも経営資源を投入していきます。

Q4 | 株主還元方針と、株主価値のさらなる向上をめざす具体策について聞かせてください。

持続的な成長をめざして、事業基盤強化のための設備投資や研究開発、M&A・アライアンスなどに資金を振り向けていきます。併せて、資本効率の向上や株主の皆様へのさらなる利益配分の実施が重要と考えています。

配当金については、安定配当の継続を基本方針として、業績の推移および事業への投資を勘案のうえ、配当金の増額に努めてきました。2013年3月期は、期末配当金を21円とし、中間配当金21円と合わせ年間で前期比2円増の1株当たり42円とさせていただきました。これで9期連続の増配となります。

また、2012年11月には、公開買付けによる自己株式749万株（発行済株式総数の5.64%）の取得を実施しました。

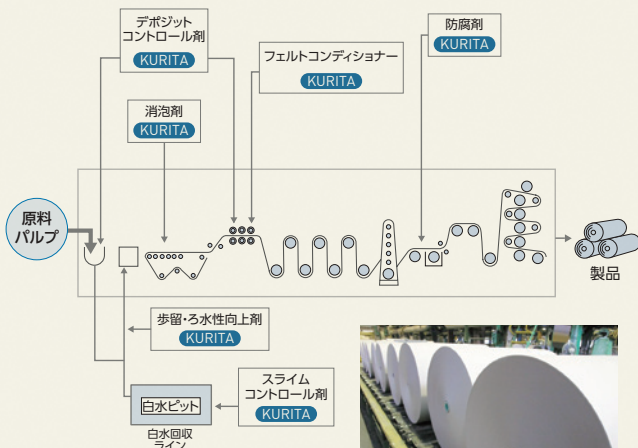
今後も株主価値のさらなる向上をめざし、配当金の増額に努めていくほか、資本効率の向上についても柔軟かつ機動的に検討していきます。

株主の皆様には、日頃のご高配に心からお礼を申しあげますとともに、今後も一層のご支援をよろしくお願いします。

2013年6月

株主の皆様の身近な場所にある、クリタグループとの「つながり」に焦点を当て

紙パルプ抄紙プロセスにおけるクリタの薬品処理



注) KURITA は当社薬品



環境負荷の低減に 貢献するクリタの技術

紙・パルプ産業は水を大量に使用するため、環境負荷の低減の観点から、水の回収・再利用による省資源化およびCO₂削減のニーズが高まっています。そこで、抄紙工程で使われた水（白水・パルプを含み微生物が繁殖しやすい）を回収して再利用することにより、水源の有効利用や水の持つ熱エネルギー回収といっ

たメリットが期待できます。クリタの紙・パルプ向けプロセス薬品により、回収した水中の浮遊物質や微生物の最適なコントロールを実現し、紙・パルプ工場のCO₂排出量の削減や生産性の向上に貢献しています。クリタはこれからも、紙づくりを支えるお客様に密着した「水」のサービスを提供し続けます。

紙づくり

紙・パルプ産業の最前線で、
紙づくりに欠かせない水を究める
クリタの技術力

水は紙づくりに欠かせません。紙づくりの工程は、原材料となる木材チップ（木片）を高温・高圧の水中で薬品と反応させて繊維を取り出し、紙の

元となるパルプをつくります。次に、パルプを水に溶かして汚れなどを取り除き、水分を抜いて乾燥させ、薄いシート状にすると紙の完成です。

紙づくりの工程で役立つ
クリタの水処理薬品

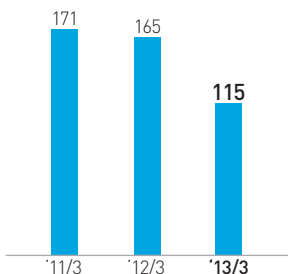
クリタの紙・パルプ向けプロセス薬品は、パルプを溶かした水中の汚れの発生や蓄積を抑えることで紙製品の品質低下を防いだり、水分の抜けを良くすることで製造ラインの生産性を高めるなどの目的で使われます。

パルプの製造工程では、水中のカルシウム・シリカなどが固まった「スケール」による障害を防ぐ「ケール防止剤」や、木材やパルプから遊離した粘着物質「ピッチ」による障害を防ぐ「ピッチコントローラ剤」といった紙・パルプ向けプロセス薬品が用いられます。また、紙を抄く抄紙工程では、細菌やカビなどの微生物がつくる付着物「スライム」を取り除く「スライムコントロール剤」のほかに、水分を抜くやすくして製造ラインの生産性を高める「歩留・ろ水性向上剤」などがあります。

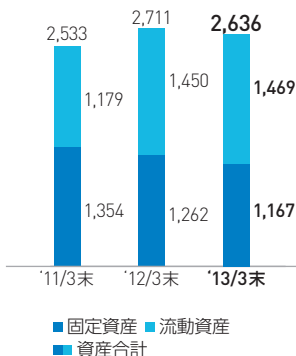
ます。

連結業績等

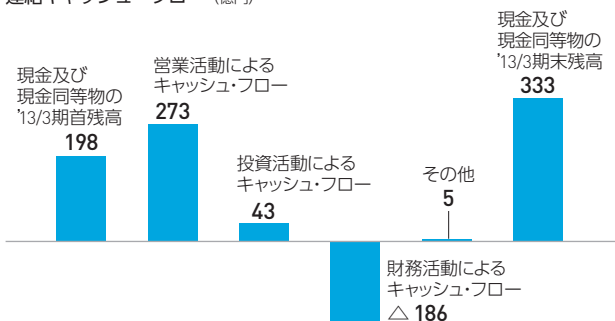
当期純利益 (億円)



資産 (億円)

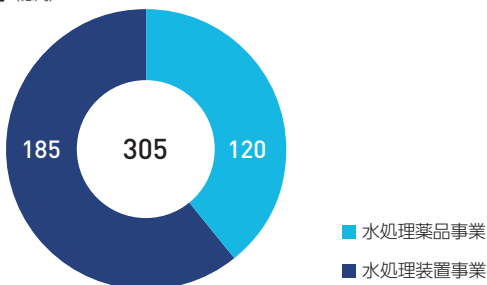


連結キャッシュ・フロー (億円)



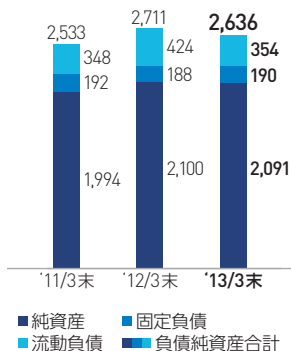
海外事業 (事業別・地域別売上高)

事業別 (億円)

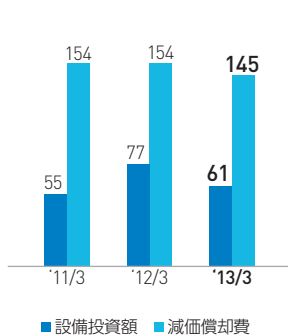


※グラフの金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

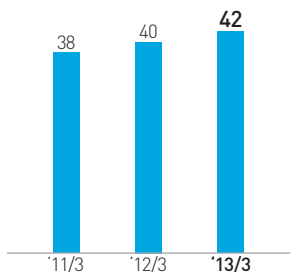
負債・純資産 (億円)



設備投資額・減価償却費 (億円)

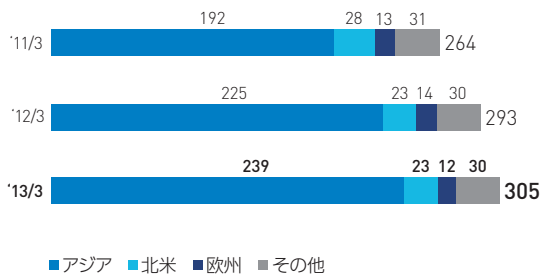


1株当たり配当金(年間) (円)



※グラフの金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

地域別 (億円)



セグメント別ハイライト

水処理薬品事業

売上高 561億円 (前期比 0.6%減)

営業利益 83億円 (前期比10.1%減)

国内では、一部の商品の受注高・売上高は増加しましたが、顧客工場の統廃合、操業度低下などの影響を受け、主力商品である冷却水薬品、排水処理薬品は受注高・売上高ともに減少しました。海外では、景気低迷が続く欧州で、受注高・売上高ともに減少したものの、中国、タイを中心にアジアで堅調に推移し、受注高・売上高は増加しました。

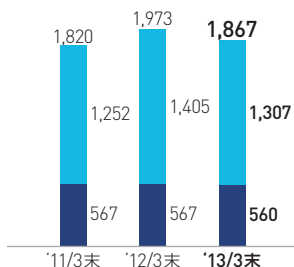


この結果、このセグメントの受注高は前期比 1.2% 減、売上高は同 0.6% 減、営業利益は同 10.1% 減となりました。

セグメント別業績の推移

- 水処理装置事業
- 水処理薬品事業

受注高 (億円)



水処理装置事業

売上高 1,241億円（前期比 9.7%減）

営業利益 126億円（前期比37.2%減）

電子産業分野では、国内においては主要顧客の工場統廃合、操業度低下の影響により、水処理装置やメンテナンス・サービスが受注高・売上高ともに減少しました。また、いくつかのサイトで契約条件の変更があった超純水供給事業も減少しました。海外においては、設備投資の一部延期、縮小はあったものの、アジアにおける半導体・液晶工場向け水処理装置の売上高は増加しました。

一般産業分野における受注高・売上高は、鉄鋼・食品産業向け水処理装置が増加しましたが、震災復旧関連需要の減少により電力向け水処理装置が減少し、顧客工場

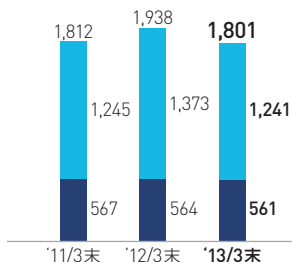


の操業度低迷により、メンテナンス・サービスが減少しました。

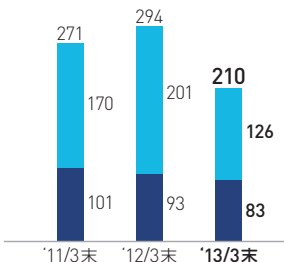
この結果、このセグメントの受注高は前期比7.0%減、売上高は同9.7%減、営業利益は同37.2%減となりました。

※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

売上高（億円）



営業利益（億円）



注) 営業利益の合計は、セグメント間取引消去に伴う調整後で表示しています。

連結貸借対照表 (要旨) (単位：億円)

	当期 (2013年3月31日現在)	前期 (2012年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,469	1,450
現金及び預金	430	289
受取手形	61	70
売掛金	553	593
有価証券	340	405
たな卸資産	49	55
その他	36	37
固定資産	1,167	1,262
有形固定資産	868	984
建物及び構築物（純額）	244	291
機械装置及び運搬具（純額）	363	449
その他（純額）	261	244
無形固定資産	16	17
投資その他の資産	283	261
資産合計	2,636	2,711

連結損益計算書 (要旨) (単位：億円)

	当期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	前期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)
売上高	1,801	1,938
売上原価	1,210	1,279
売上総利益	591	659
販売費及び一般管理費	381	365
営業利益	210	294
営業外収益	13	12
営業外費用	3	2
経常利益	220	304
特別利益	16	1
特別損失	39	8
税金等調整前当期純利益	198	297
法人税等	82	130
少数株主利益	1	1
当期純利益	115	165

※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

	当期 (2013年3月31日現在)	前期 (2012年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	354	424
支払手形	15	17
買掛金	165	196
その他	174	210
固定負債	190	188
リース債務	60	62
退職給付引当金	108	103
その他	22	23
負債合計	545	611
【純資産の部】		
株主資本	2,058	2,118
その他の包括利益累計額	20	△ 29
少数株主持分	12	11
純資産合計	2,091	2,100
負債純資産合計	2,636	2,711

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：億円)

	当期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	前期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	273	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	43	△ 135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 186	△ 56
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5	△ 2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	135	90
現金及び現金同等物の期首残高	198	108
現金及び現金同等物の期末残高	333	198

詳細は当社ホームページでご確認ください。

URL <http://ir.kurita.co.jp/>

栗田工業 IR

検索

東南アジアでの事業拡大をめざし、マレーシア営業所を開設

2012年10月23日、マレーシア営業所の開所式を、地元ペナン州の主席大臣をはじめとする政府・地元関係者、周辺地域に進出している日系企業を中心としたお客様・協力会社から約40人の来賓をお迎えし、開催しました。

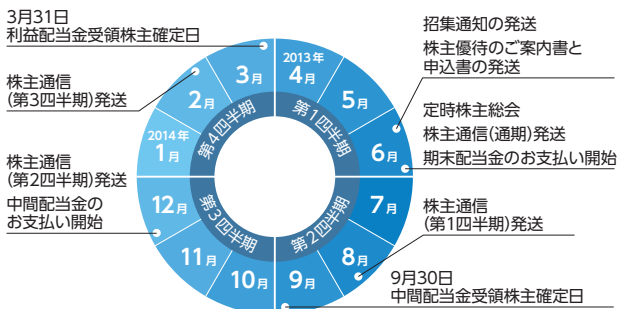
マレーシア営業所は、メンテナンスを含めた装置事業の拠点であり、クリタグループでは本営業所の開設により、マレーシアにおいて「水処理薬品」「水処理装置」「メンテナンス」の3つの事業を展開する基盤を整えました。

同国内では、薬品事業の拠点であるクリタ・ウォーターマレーシア社 (KURITA WATER (MALAYSIA) SDN. BHD.) との連携によって一層の総合力を発揮していくとともに、シンガポール・インドネシア・タイなど近隣各国における海外事業会社相互の連携を強化し、東南アジア地域での事業拡大を進めていきます。

株主の皆様との コミュニケーションコーナー

Ⅰ 株式カレンダー

株主の皆様にとって重要な、株式関連事項の今後の予定です。



Ⅰ 株主優待制度のご案内

株主の皆様のご支援にお応えするとともに、より多くの皆様にクリタグループを一層ご理解・ご支援いただきたいとの思いから、「株主優待制度」を実施しております。

対象株主様

毎年3月31日現在で、当社株式を100株以上ご所有の株主様対象といたします。

優待内容

以下のとおり、ご所有の株式数に応じて、当社子会社のクリタック株式会社が販売しております「水のクリタのうまい水」を贈呈いたします。

- 100株以上～1,000株未満ご所有の株主様
➡ 1セット (18ℓ)
- 1,000株以上～10,000株未満ご所有の株主様
➡ 2セット (36ℓ)
- 10,000株以上ご所有の株主様
➡ 6セット (108ℓ)

優待ご案内時期

毎年6月に株主優待のご案内書と申込書をお送りいたします。

優待品お届け時期

申込書にお届け先をご記入の上、ご返送ください。受付順にてお届けいたします。

お問い合わせ先

株主優待事務局 TEL. 03-6743-6907

【株主優待品】「水のクリタのうまい水」1セット (18ℓ) の内容

ミネラル
100

【1パック1.5ℓ×6パック】



ミネラル
200

【1パック1.5ℓ×6パック】



**フィルム
パッケージ
入り**
そのまま専用
パックスタンド
にセットして使
います。



**専用パック
スタンド**
1セットにつき
1個、同梱いたし
ます。



**宅配専用
商品**
1ケースは6パッ
ク入り。2ケー
スを1セットと
してお届けいた
します。

会社概要 (2013年3月31日現在)

商号	栗田工業株式会社 (Kurita Water Industries Ltd.)
本社所在地	東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
設立年月日	1949年7月13日
資本金	134億5,075万円
従業員数	1,543名（連結4,640名）
ホームページアドレス	http://www.kurita.co.jp/
お問い合わせ先	経営企画室 企画部 広報課 TEL.03-6743-5007

取締役および監査役 (2013年6月27日現在)

代表取締役社長	中井 稔之
代表取締役専務	佐伯 哲男
常務取締役	梶井 馨
常務取締役	飯岡 光一
常務取締役	伊藤 潔
取締役	依田 元之
取締役	名村 生人
取締役	黒川 洋一
取締役	中村 清次
監査役	葛生 知明
監査役	林 史郎
監査役（非常勤）	宇多 民夫

- (注) 1. 取締役のうち、中村清次は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 2. 監査役のうち、葛生知明および宇多民夫は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

グループネットワーク

国内 当社および子会社27社の合計28社で構成されており、全国を網羅する販売・サービス網により、水処理に関する商品・技術・サービスを幅広く提供しています。

海外 子会社13社および関連会社1社の合計14社で構成されており、グローバル事業の拡大に向けて世界各地域で事業を展開しています。

株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	531,000,000株
発行済株式の総数	132,800,256株
株主数	37,824名

大株主 (2013年3月31日現在)

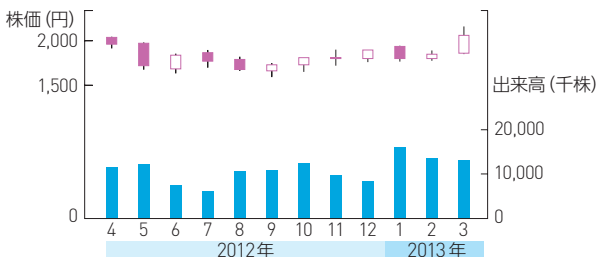
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
栗田工業(株)	13,635,467	10.26
日本生命保険(相)	6,644,283	5.00
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,374,400	4.04
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	4,201,600	3.16
全国共済農業協同組合連合会	3,380,300	2.54
RBC IST LONDON-LENDING ACCOUNT	2,885,830	2.17
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,743,248	2.06
東京海上日動火災保険(株)	2,586,926	1.94
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,360,200	1.77
ピクテアンドシーヨーロッパエスエー	2,273,800	1.71

所有者別株式分布状況 (2013年3月31日現在)

	持株数* (千株)	持株比率 (%)
金融機関	38,181	28.8
証券会社	935	0.7
その他国内法人	10,895	8.2
外国人	50,537	38.1
個人	18,613	14.0
自己株式	13,635	10.3

※千株未満を切り捨てて表示

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (中間配当を行う場合)	9月30日
基準日	3月31日 (そのほか臨時に必要なときに あらかじめ公告いたします。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人および 特別口座管理機関 (電話照会先)	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目 4番1号 フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間：平日 9：00～17：00)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

諸手続きお問合わせ先(住所変更、単元未満株式の買取請求、未払配当金の照会等)

- 証券会社の口座に記録された株式の場合
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
ただし、未払配当金の照会については、三井住友信託銀行株式会社(株主名簿管理人)にお申出ください。
- 特別口座に記録された株式の場合
三井住友信託銀行株式会社(株主名簿管理人および特別口座管理機関)にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。



この冊子は、適切に管理された森林由来のFSC®認証紙に、植物油インキを使用して印刷しています。